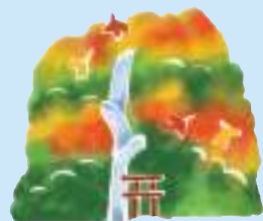




山形県戸沢村
観光ガイドブック



戸沢村の トリビア

TOZAWAMURA no
TRIVIA



戸沢村観光物産協会



山形県戸沢村
観光ガイドブック

戸沢村で あじわう

TOZAWAMURA de
AJIWAU



戸沢村観光物産協会





とざわめし
戸沢飯で
おなかも心も大満足。

戸沢村であじわう

豊かな自然に育まれた

お米や野菜

雪国の気候・風土

ならではの食文化を

おなかいっぱい

味わって。

蕎麦畑

戸沢村ランチ

料理長の背中

パプリカ



戸沢村のお店で あじわう

#AJIWAU
あじわう・飲食店



旅を彩るおいしいご飯。あなたのお気に入りは見つかりましたか？

01 | レストランぽんぽ | 温泉の後の腹ごしらえに！



おすすめ①
みそラーメン



おすすめ②
マーボー麺



DATA

戸沢村松坂155(いきいきランド
ぽんぽ館内) ☎0233-72-3600
営業時間/11:00~16:00
定休日/第2・4水曜日
(8月は第4水曜日のみ)

座敷

なし



02 | 農家レストラン 安食 | 温かいおもてなしでほっこりとしたひとときを



おすすめ③
焼肉定食



おすすめ④
とんかつ定食

DATA

戸沢村松坂348
☎090-4046-3724
営業時間/11:00~14:00
定休日/月曜日~木曜日

座敷

あり



田園の中に佇む雰囲気たっぷりの農家レストラン。「戸澤豚一番育ち」と、こだわりの自家製野菜やお米を使ったおいしいランチがいただけます。まるで親戚の家に来たような、心温まるおもてなしのお店です。

03 | 呑喰処 和 なごみ | 店主が目の前で調理してくれるこだわりのお店



フレンチの名店で修行したシェフが腕を振るう居酒屋。ランチのおすすめは、カラッと揚がったジューシーかつ味もハイクオリティな鶏から揚げ定食です。

DATA

戸沢村神田1726
☎0233-72-3132
営業時間／11:00～14:00
17:00～23:00
定休日／日曜日

座敷

あり



05 | 日韓ひろば | 元気いっぱいの店主とのトークを楽しんで！



韓国の家庭の味を提供する韓国料理店。食文化を通じて日韓の橋渡しに取り組んでいます。熱々の石焼きビビンバ、骨付カルビ、本場の韓国キムチが人気です。

DATA

戸沢村蔵岡3718-1
☎0233-72-3351
営業時間／11:00～14:00
定休日／月曜日

座敷

なし



04 | 味処 戸城 とじょう | おしどり夫婦が経営する愛され食堂



DATA

戸沢村名高1593-302
☎0233-72-2658
営業時間／11:00～13:30
17:00～22:00
定休日／月曜日

座敷

あり



地元住民から長年愛される人気の大衆食堂。おすすめはボリューム満点のラーメンとミニ焼肉丼のセット。甘辛い味付けの焼肉丼は何度でも食べたくなる味です！

06 | 芭蕉ドライブイン | おなかいっぱい食べたい人あつまれ～！



DATA

戸沢村蔵岡3705
☎0233-72-2231
営業時間／10:00～19:00
定休日／不定休

座敷

あり



国道47号線沿いにある男子に人気の大衆食堂。広い駐車場と店内で、ゆったりお食事が楽しめます。満腹セットは、名前に偽りなし！かなりのボリュームでおなかを満たします！

07 | Colina〈コリナ〉 | 美しい景色と広々とした店内でゆっくり食事が楽しめる



おすすめ①
今日は給料日

おすすめ②
戸沢流冷麺

高麗館の中にある韓国レストラン。広々とした店内からは最上川が一望でき、眺めも最高！ 駅長おすすめのビビンバをぜひ味わってください。

DATA

戸沢村蔵岡3008-1 (道の駅とざわ高麗館内) ☎0233-72-3303
営業時間 / 11:00~15:00
定休日 / 火曜日~木曜日 (12月~3月休業)

座敷

なし



09 | 蕎麦処 芭蕉庵 | 舟下りをする前に腹ごしらえ！



おすすめ①
天ぷらそば (冷・温)

おすすめ②
げそ天そば (冷・温)

戸澤藩船番所にあるそば屋。そばの香りと甘味を引き出したこだわりのそば粉を使用した手打ちそばが味わえます。予約をすればそば打ち体験も可能です。

DATA

戸沢村古口86-1
☎0233-72-2001
営業時間 / 11:00~14:30
定休日 / 年中無休

座敷

あり



08 | レストラン ファミリー | 毎日通い詰めるファンのいる店



おすすめ②
カントンメン

おすすめ①
ガッキラーメン

DATA

戸沢村古口93-3
☎0233-72-2775
営業時間 / 11:00~14:30
17:00~21:00
定休日 / 不定休

座敷

あり



戸澤藩船番所前にあるレストラン。おすすめは最上地方の郷土料理「ガッキ」がたっぷり入ったガッキラーメン。ガッキのコクとしょうゆ味がリピーターの胃袋をつかんで離しません！

10 | 戸沢のぼたもち | ほっと安心する味は手土産などにも喜ばれます



おすすめ①
ぼたもち (あんこ、きなこ、ごま)

DATA

戸沢村古口374
☎0233-72-2012
営業時間 / 8:30~17:30
定休日 / 月・火曜日

座敷

なし



戸沢村産のお米を使用したぼたもちの専門店。テイクアウト可能なぼたもちは手土産などにも喜ばれます。ほっと一息つきたいときにおすすめのお店。

11

巴食堂

地元の胃袋を支える昔ながらの食堂

おすすめ①
タンメンおすすめ②
味噌ラーメン

古口駅前にある話題の食堂。テレビで何度も紹介されています。人気メニューはタンメン。あっさりとした塩味と、ボリュームたっぷりの野菜のうまみで大満足！

DATA

戸沢村古口345-3
☎0233-72-2737
営業時間／11:00～19:00
定休日／第2日曜日
(都合により他の日曜日へ変更あり)

座敷

あり



13

八郎兵衛茶屋

美しい景色とおいしいそばが楽しめる

おすすめ③
天ぷらそばおすすめ①
天ざるそば

最上峡の絶景を堪能できるそば屋。2階席もあり、広々ゆったりと食事を楽しむことができます。秋には季節限定でモクズガニを味わうこともできます。

DATA

戸沢村古口1423-7
☎0234-57-2501
営業時間／11:00～15:00
定休日／木曜日

座敷

あり



12

佐藤長三郎そば

こだわ店主の手打ちそばを味わえる名店

おすすめ①
板そばおすすめ②
温かい
海老天そば

DATA

戸沢村古口404
☎0233-72-2107
営業時間／11:00～14:00
土・日・祝日 11:00～15:00
定休日／第1・3月曜日

座敷

あり



国道47号線沿いにあるこだわりのそば屋。戸沢村産そばを石臼で自家製粉したそば粉を使用。板そばとサクサクの天ぷらは絶品！

14

白糸の滝ドライブインレストラン

名瀑白糸の滝を眺めながらおいしいご飯に舌鼓

おすすめ③
カツ丼おすすめ①
五目ラーメン

DATA

戸沢村古口1496-1
☎0234-57-2011
営業時間／10:30～15:00
定休日／火曜日～木曜日

座敷

なし



名瀑 白糸の滝を臨むレストラン。山形牛メニューやうまみたっぷりの五目ラーメンがおすすめです。絶景を眺めながらゆったりお食事を楽しめます。

15 | パーラー白糸の滝 | 昭和レトロな空間で非日常を楽しもう



おすすめ①
滝バーガー



おすすめ②
プリン
アラモード



パーラーの名の通り昭和の雰囲気が楽しめる喫茶店。最上峡の絶景をゆっくりと眺めながら贅沢なゆとりの時間を過ごせます。

DATA

戸沢村古口1495-1
☎0234-57-2146
営業時間/10:30~16:00
定休日/水曜日

座敷

なし



17 | ごはん処おめのえ | 雄大な最上川を眺めながら海鮮丼が楽しめる！



おすすめ②
しょうが焼き
定食



おすすめ①
からあげ定食

からあげ定食はおすすめの逸品。「おめのえ」とは、最上地域の方言で「あなたの家」という意味。最上川を眺めながら、まるで自分の家にいるようにくつろげるお店。

DATA

戸沢村古口2919-1
☎0234-25-3329
営業時間/11:00~17:00
(宴会などは要相談)
定休日/月曜日

座敷

あり



16 | 三左衛門そば | こだわりの手打ちそばを味わって



おすすめ①
板そば



おすすめ②
鴨そば



DATA

戸沢村角川1393-7
☎0233-73-2182
営業時間/11:00~14:00
定休日/不定休

座敷

あり



豊かな香りと喉ごしの良さが自慢のそば屋。安心・安全にこだわった自家栽培のそばを使用し、つなぎを一切使わない十割そばを提供します。春には山菜、秋にはきのこなど角川の四季も堪能できます。

18 | お食事処 山科 | そばの風味豊かな十割そば



おすすめ②
冷とり蕎麦



おすすめ①
天ぷら盛板

DATA

戸沢村古口86-1(戸澤藩舟番所内)
☎0233-72-2001
営業時間/11:00~15:00
定休日/火曜日

座敷

なし



霊峰月山・葉山の麓厳選「最上早生」と、天然の伏流水を使用した手打ちの十割そばをはじめ、天ぷらや季節に合わせた御料理も提供しています。

お土産にいかが?

戸沢村のうまいものを紹介するよ! 個性豊かな特産品を旅の思い出にどうぞ

くじらもち

インパクトのある見た目と名前のくじらもち。クジラが中に入っているわけではありません。名前の由来には「久しく持つ良い餅」から「久持良餅」となった説の他、見た目がクジラ肉の塩漬に似ていた、蒸しあがった餅の大きさからクジラにたとえたなど諸説あり。人々の暮らしが垣間見える郷土菓子です。

ここで買えるよ!

●とざわ農楽市

えごま商品

えごま油に含まれるα-リノレン酸には様々な健康効果があると言われ、広く注目を集めています。えごまは「じゅうねん」とも言われ、食べれば10年長生きすると言い伝えられています。

ここで買えるよ!

●とざわ農楽市
●白糸の滝ドライブイン
●いきいきランドぼんぼ館

山形そば街道

戸沢村のそばと米を原材料に仕込んだ「山形そば街道」は、そばの豊かな香りとさわやかな呑み口がクセになる自慢の逸品です。
(原酒 25度 20度)

ここで買えるよ!

●いきいきランドぼんぼ館



ゆかりもち

さわやかなシンの風味としっかりとしたこしあんの甘さが絶妙な銘菓! 菓子博覧会での受賞歴もある逸品をぜひご賞味ください。

ここで買えるよ!

●佐藤菓子店



パプリカ味噌

地域のおかあさん団体「のぐち嬢」秘伝のパプリカ味噌。野菜スティックにディップしたり湯豆腐、肉料理、鍋、ラーメンなどに...可能性は無限大!!

ここで買えるよ!

●いきいきランドぼんぼ館



最上川名物

味噌まんじゅう

舟の下船場に工房があり、ふかしたふわふわのまんじゅうが食べられる! 白みその上品な風味でついつい食べすぎちゃう。

ここで買えるよ!

●戸澤藩船番所
●矢作菓子店 支店

ぼんぼ饅頭

可愛いたぬきが目印の温泉まんじゅう。しっかりとした甘さの餡で小さいながらも食べ応え満点。手土産などにも喜ばれます。

ここで買えるよ!

●いきいきランドぼんぼ館



戸沢流冷麺

日韓両国農村の小さな草の根交流を出发点に、韓国の文化や食材、料理などを楽しむことができる戸沢村ならではの逸品。戸沢村産のそば粉を使用したモチモチ食感の親しみやすい冷麺です。

ここで買えるよ!

●いきいきランドぼんぼ館
●モモカミの里 高麗館

アクセス

HOW TO ACCESS TOZAWA

交通アクセス



交通機関

村内の観光地巡りに!

(有)戸沢観光タクシー ☎0233-72-2711

最上川交通(株) ☎0233-34-7051

お土産

旅の思い出を、大切な人におすそ分け

とざわ農楽市 ☎0233-72-2242
モモカミの里 高麗館 ☎0233-72-3303
いきいきランドぼんぼ館 ☎0233-72-3600
戸澤藩船番所 ☎0233-72-2001
川の駅 最上峡くさなぎ ☎0234-57-2111
白糸の滝ドライブイン ☎0234-57-2011
佐藤菓子店 ☎0233-72-2341
矢作菓子店 支店 ☎0234-57-2873

詳しい情報は
こちら!詳しい情報は
こちら!

JRをご利用の場合

山形新幹線「つばさ」で東京と新庄が約3時間30分直結

東京	山形新幹線	新庄	陸羽西線	戸沢村
	約3時間30分		約20分	
仙台	仙山線・奥羽本線	新庄	陸羽西線	戸沢村
	約2時間30分		約20分	
新潟	羽越本線・陸羽西線		約2時間30分	古口

飛行機をご利用の場合

羽田空港	ANA	庄内空港	車	戸沢村
	約1時間		約50分	
羽田空港	JAL	山形空港	車	戸沢村
	約1時間		約20分	
伊丹空港	JAL	山形空港	車	戸沢村
	約1時間15分		約1時間20分	
小牧空港	FDA	山形空港	車	戸沢村
	約1時間15分		約1時間20分	
千歳空港	FDA	山形空港	車	戸沢村
	約1時間		約1時間20分	

自動車をご利用の場合

東京	東北自動車道・東北中央道	IC新庄	国道13号線・国道47号線	戸沢村
	約5時間20分		約30分	
仙台	国道48号線	東根	国道13号線・国道47号線	戸沢村
	約1時間30分		約1時間20分	
山形	国道13号線・国道47号線		約1時間40分	戸沢村

高速バスをご利用の場合

仙台	48ライナー	新庄	列車→約20分	戸沢村
	約2時間25分		車→約30分	

TOZAWA VILLAGE MAP



納豆汁のかんたんレシピ

材料 山菜ミックス／納豆汁のもと／豆腐／ネギ／味噌

- 鍋にだし汁を入れて山菜ミックスを入れ火にかける
- 具に火が通ったら火を止めて味噌と納豆汁のもとを溶かし入れる
- 豆腐をさいの目に切り加え、再び火にかけ、沸騰直前に火を止める
- お椀に盛りつけ、お好みでネギなどの薬味をのせる

NATTOJIRU

ぜんまい炒り

下準備 <乾燥ぜんまいの戻し方>

1.乾燥ぜんまいと水を鍋に入れ、ゆっくり火にかけ沸騰直前に火をとめる2.冷めるまでそのままの状態にする3.水を時々取り換えながら2～3日間水に浸し、水が濁らなくなったら下準備完了!

材料 戻したぜんまい／油揚げ／好みの具材(人参、糸こんにゃく、舞茸など)

- したぜんまいを3cmくらいの長さに切る。他の具材も食べやすい大きさに切る
- フライパンに油をひき、具材を炒め、調味料をすべて入れ中火でゆっくりと汁けがなくなるまで炒める。
※火が強すぎると固い仕上がりになるので注意!

ZENMAI-IRI

コシアブラのおにぎり

下準備 <塩蔵ものの塩の抜き方>

1.銅鍋に水と塩蔵のコシアブラを入れて火にかけ、沸騰直前で火を止め、お湯を捨てる2.水を取り替えながら粗熱が取れたら水に浸し塩を抜く
※おにぎりにする場合は塩を抜きすぎない方がおいしいので2時間くらいで水から出す

- 塩を抜いたコシアブラを細かくきざみ、ご飯に混ぜておにぎりにする。
※好みにゴマなどを加えても◎

KOSHIABURA no ONIGIRI

角川かぶの漬物

材料 角川かぶ1kg(下処理後の分量)
ザラメ150g／酢100cc／塩40g

- かぶを洗い皮をむき、好みの大きさに切って一晩水にさらす
- 水気をきり、調味料と合わせて重しをして漬け込む
- 時々様子をみながら、約1週間で完成

KABU no
TSUKEMONO

戸沢村は特別豪雪地域に指定されており冬には3メートル以上の積雪になることもある現代ほど道路状況や除雪技術が発達していなかった頃は冬になればすっかり雪に閉ざされてしまっていたのであるそんな中食料の不足する冬をいかに乗り越えるか彩りの少ない冬の食卓をどう豊かにするか...先人たちの知恵と工夫によって伝承された保存食の技術が戸沢村の食文化の礎となっている

暮るに郷土料理

カブ漬

コシアブラ

ぜんまい炒り

納豆汁

知恵のつまった
ふるさとの味

local food KYODO-RYORI

winter



こたつにホース

あたたかく
冬を過ごす
工夫



蔵岡紙風船



角川雪回廊物語



戸沢村の ふゆ 冬

来た来た、この季節。
今年の雪は多いべからなあって噂話をしていたら
ずんずん積もってあっという間に雪景色。
冬は雪に閉ざされる戸沢村。だけど寒いからって
じっとしているわけじゃない！
厳しい冬を楽しんで過ごす
知恵と工夫がたまっています。

豪雪をたのしむ

雪上トレッキング



かんじき
防寒グッズ
冬用長靴



除雪機

文化・暮らし

鮭の
寒風干し



雪の下に野菜保存



たべもの

正月餅



冬至かぼちゃ



漬物



おさいど

餅つき



あんこもち・納豆もち・えごまもち
色々楽しめる!!

なし団子づくり



甘味採る
甘味採る



納豆汁

塩蔵した山菜やきのこの出番です!

瓶詰山菜

(塩漬け山菜)



autumn

刈り上げ餅



豊作に
感謝し
て...

収穫の秋!
そして入念な
冬支度

蕎麦収穫



舞家のお仕事



稲刈り

戸沢村の あき 秋

実りの秋! 豊作を山の神様に感謝して、
杵つき餅でお祝いだ!
でももうすぐ冬が来る。冬支度をしっかりとって、
豪雪に負けないように備えます。
村のあちらこちらでそがきが始めれば、
冬はもうすぐそこに...

たべもの



モクズガニ

秋しか食べられない!



菊(もってのほか)



文化・暮らし



きのこの瓶詰

ジャバラ大俵



そがき(雪囲い)



漬物漬け



干し柿



きのこ
原木なめこ

新そば

角川かぶ

いものこ汁

秋は
沢村の

summer



白山神社ヤレノ行列

まつり



津谷神社祭典

戸沢村の なっ夏

農繁期をすぎて、ほっと一息。
青々とした稲が一面に広がり、
なんだかうきうきしてくる季節。
そう、夏はまつりの季節！
村のそこかしこから祭囃子が聞こえてきます。
豊かな自然の恵みやご先祖様に感謝する心は、
老若男女忘れていません。

たべもの



光ッピカッピカ
ッッッッ

鮎



赤飯



だし

山形の
夏といえ
ば



しそまき



最上赤ニンニク



冷や汁



夏野菜漬物



笹まき

暑い日は
これが一番！



田の草とり
畦畔の草刈り
水の管理

農家のお仕事



採っても採っても
すぐ大きくなる
きゅうり

無限
さっぱり



文化・暮らし

鮎釣り



spring

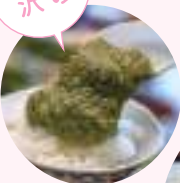
山菜採り
山菜料理

わらび畑



保存の知恵

春の
贅沢



連日食卓に
上がる
山菜料理

たべもの

わらびたたき



みず汁



お菓子
わくわく

お雛見



地域のお雛様を見せてもらおうとお菓子がもらえる
子どもたちの一大イベント



くじら餅



雑煮



孟宗汁



甘酒

戸沢村の はる春

春は、雪国の人々にとっては特別な季節。
花や新緑に心が躍ります。
山の恩恵を受け、旬の山菜に舌鼓。
でも、またやってくる冬のために
山菜を塩蔵することも忘れていません。
冬のための保存食の知恵は、
代々受け継がれてきた宝物。
厳しい冬に備えることで生まれた食文化は、
戸沢村の自慢です。

文化・暮らし

農家のお仕事



田の準備
種まき・苗代
田おこし・代掻き
田植え

朝早くから
水田んぼの
見物！

山菜の塩漬け



わらび
こしあぶら
タラの芽
ウド
ふき



月山信仰 修行の滝 宿坊跡

古くから山には神々が宿ると考えられた山岳信仰の影響は現在でも地域の行事など村のあちこちで名残を感じることが出来ます。特に農業とかかわりは深く、伐採を行うときや田おこし・稲刈りなどではお供えをしたり餅をついたりします。というのも山の神は春になると里へ下りてきて田の神となり、里へ豊作をもたらし稲刈りが終わると山へ戻られると伝承

されていて、人々の生活に根付いた信仰として行事など大切に受け継がれています。また、山をご神体とする山岳信仰では、ご神体（山）にこもり厳しい修行を行うことで霊験が得られると、かつては多くの人が修験に訪れたといえます。戸沢村の中にも修験の名残を感じられるスポットとして浄の滝があります。浄の滝は村中心部から霊峰・月山方面に向かう深山に位置し、かつては修験者らが滝身を清め月山を目指したと言われ、現在も登拝道や拠点となる宿坊の跡などがわずかに残っています。

今熊野神社

今熊野神社の縁起は神亀元年（724年）、村の狩人が大熊を射止め追いかけると、もうもうと立登る湯気の中に弥陀三尊の御姿を発見し、殺生の罪を悔い一生湯守となった今熊野神社初代別当高岳院俊慶法師によるものと伝えられています。出羽三山修験の最盛期には月山登拝道の登り口・出発点のひとつとして、3万人を超える往来があったといわれています。



名勝旧跡

七所明神(右足)

大和時代、15代応神天皇亡き後その第二皇子・大山守命は皇位継承を巡る謀略に遭い、現在の庄内町余目あたりで追手に斬殺されました。大山守命は「私を7つに切って最上鮭延庄(現最上郡)に祀れ。」と言い残し、彼の遺骸は新庄市宮内(頭)・升形(胴)・角沢(右手)・鳥越(左手)・本合海(男根)・戸沢村松坂(右足)・鮭川村京塚(左足)の7か所に埋められました。するとたちまち霊験が現れ、人々はそれぞれに社を建て厚く尊崇しました。七所明神は病を治す神、健康祈願の神として、現在も地域内外の人々に信仰され続けています。

国保発祥の地記念碑

昭和初期、東北地方を襲った大冷害による飢饉や疫病などで農山村地域は窮乏を極め、病気になったら死を待つばかり、白米は死ぬ間際にしか口にできないといった状況でありました。旧角川村では、村立の診療所開設による無医村の解消・助け合いによる保健組合設立(昭和11年4月)に取り組みしました。国は昭和13年7月、国民健康保険法を施行し、角川村保健組合は同年8月1日、「角川村国民健康保険組合」としてこの法律の設立認可第1号となりました。これを記念し、「相扶共済の石碑」が昭和31年に建てられ、地域のシンボルとなっています。



源氏橋

野口温泉の西北にあり、小高い山全体が橋となっています。言い伝えでは、平安時代後期に起こった前九年の役で、東北地方に大きな影響力を持っていた安倍一族の安倍貞任が立て籠もり、源義家と激しい戦いを交えたと言われていました。現在は散策道が整備され、ヤマユリが咲き誇る7月～8月はフォトスポットとして人気があります。



ちしまめ

【信号機が縦の理由】



戸沢村に3機しかない貴重な信号機には、雪国ならではの特征があります。ふつうと違うところはどこでしょう？

正解は信号機が縦に設置されていることです。雪の多い地域では、信号機に雪が積もって視認性が低下することを防ぐため、雪の影響を受けにくい縦型信号機が採用されています。あなたのお住いの地域はいかがでしょうか？

【冬になると道路ヨコに棒が立つ】

晩秋の頃になると、村の道路のあちこちで道路の脇に棒を立てる作業をしているところを見かけます。これは、除雪の際の道路と歩道の境界のための目印なのです。この目印が設置されると「もうすぐ冬だなあ・・・」と地元の人々は心構えをします。



【カメムシの捕まえ方】

においを出す虫で、戸沢村では「ヘクサンボ」と呼ばれています。秋から冬にかけてほんの少しの隙間からでも温かい室内に入ってきます。見つけても決して潰してはいけません。



正しい捕まえ方

- ①ガムテープを5センチほど切る
- ②虫を刺激しないようにガムテープで上からベタッと貼り付ける。
- ③潰さないよう気を付けて、隙間をつくらないように張り合わせて密閉してからゴミ箱に捨てましょう。

<珍しい編>

5	4	3	2	1
あくど	まよう(え)	おとげ	ありよう	わにる
かかと／足の一部	弁償しろ、責任をとれ／怒って強い口調で使われる場合が多い 〔例〕「どんげすんだ、まよえー(どうするんだ、責任をとれ！)」	あご／顔の一部	びっくりした時、驚いた時に使用 〔例〕「ありようー(…)」	(赤ん坊が)人見知りすること 〔例〕「わにるおぼ(人見知りする赤ちゃん)」

おさえておきたい 戸沢村方言ランキング



<日常編>

1	2	3	4	5
んだ	にやー	んめ	んね	じゅ
そうです／相つちや肯定の意味で 〔例〕「んだにや(そうだよ)」	そうだよ／相手に同意を求める場合に使用 〔例〕「○○だよにや(○○だよ)」	美味しい 〔例〕「んめにや(おいしいね)」 「んめじゅ(おいしいよ)」	違う／否定する場合に使用 〔例〕「んねじゅ(違うよ)」	強意・念押し／単独での使用より、語尾につける場合が多い 〔例〕「○○だじゅ(○○だよ)」

方言

意味／使用例

方言

意味／使用例

舟運の歴史

今のように鉄道や自動車など、陸の交通機関が発達していなかったころ、荷物を運ぶ手段は舟でした。最上川は江戸時代に山形城主最上義光らにより上流から河口まで航路が開かれるとたちまち主要な輸送路となり、舟運が発達していきます。荷を積む舟は平田舟と小鵜飼舟の2種類があり、どちらも舵はなく櫂(かい)や帆で進み、急流を登るときには綱で曳いて上ったそうです。交通運輸の要となった最上川の舟運は、常時300隻、多い時には600隻もの



川舟が往来していたと言われています。最上川流域で収穫された米や紅花、青芦(あおそ)、大豆、小豆、漆、葉煙草などが運ばれ、酒田港にて荷揚げされ、搬送の母船に積みかえられて海路運び出されていました。上り荷は塩や砂糖、木綿類、鉄、木材、古着などの日用品、文化的なものとしては瀬戸物、ひな人形などの工芸品の他、上方の言葉や祭り、料理などの文化が伝わりました。このように最上川舟運は山形に様々な文化を根付かせ、歴史的に重要な役割を果たしてきました。

奥の細道紀行

「奥の細道紀行」は、俳聖松尾芭蕉が元禄2年に江戸深川を出発し、岐阜大垣までの約600里、約5カ月間にわたる歌枕や名所旧跡を巡る旅の記録であります。戸沢村も行路となっており、「五月雨を集めて早し最上川」が誕生した地でもあります。名句には誕生秘話があり、芭蕉は現在の大石田にてすでに



「五月雨を集めて涼し最上川」と詠んでおりました。「奥の細道紀行」の中にこのような記載があります。「最上川は陸奥より出でて、山形を水上とす。基点、隼などといふ恐ろしき難所あり。板敷山の北を流れて、果ては酒田の海に入る。左右山覆ひ、茂みの中に舟を下す。これに稲積みたるを、稲船といふなり。白糸の滝は青葉の隙々に落ちて、仙人堂、岸に臨みて立つ。水みなぎつて舟危し。五月雨を集めて早し最上川」松尾芭蕉は旅路にて実際に舟で川を下ったことで、梅雨時期の増水した最上川の奔流を体験し、「涼し」を「早し」に推敲したのではないかとわれています。



義経伝説



平安時代末期、平氏討伐にて功績を残した源義経は、異母兄弟である源頼朝にうとまれ、追われる身となりました。史伝物語「義経記」によると、義経の一行は、越前国(現在の新潟県)から日本海沿いに北上し、文治3年に



角川竜神伝説



むかしむかしのことだとさ、おれも見てきたわけでもないが、としよりから聞いた角川の話

そのむかし角川は「澄川郷」と呼ばれるよくよく小さな狩猟部落であった。

今のように開けた田や畑はなく、柳や櫨の密林の中、狭く深い澄川でマスや鮭を弓や木を尖らせた槍で捕って日々の暮らしを立てておったそう。

神亀元年卯の3月、高倉山と今神山、今橋山などの噴火によって近くにあった御池は熱湯と化し、御池を住処としていた竜の角は折れ、竜の血で御池も下流の澄川も真っ赤に染まったんだ。

竜のあまりの無惨さを見た人々は澄川を「血の川」と呼ぶようになったそう。そうこうして何年たったか、竜の角にちなんで「角川」と呼ぶようになった。角川に村とついたのは明治の始めだとき。ドンスカンコンナイトハ

御池

今神温泉から徒歩で30分、海拔4000m、周囲630m、最大水深7mの池。竜神が棲むと言えがあり、日照りの年には雨ごいが行われたり、池を汚すと竜神の怒りにより集落が雨で押し流されたという伝説があります。ここにはモリアオガエル、ルリイトトンボ、カラカネトンボなどが生息しており、周辺はフナを主とする落葉広葉樹が原生に近いまま保存されています。御池を含む今神山一帯が特別鳥獣保護区・自然環境保全地区(昭和50年に指定されています)。



仙人堂と常陸坊海尊

義経北国落ちの際、義経の従者であった常陸坊海尊がこの地で別れ、山に籠り修験道の奥義を極めて仙人になり義経の最期の様子をいつまでも語り継いだという由来がある仙人堂。最上川右岸に位置し、舟でしか行くことのできない神社です。



知れば知るほど
旅が深まる。

御池

生活の知恵

戸沢村のトリビア

数々の歴史や伝説が

交差する戸沢村

母なる川

最上川と共に

息づいた文化を

紐解いてみましょう

最上川舟下り

今熊野神社



戸沢村って どんな村？



戸沢村の往古は北部地域の鮭延氏と清水大藏公、それに庄内の武藤氏の三巴の激戦地であり、中部地域は山形県の文化移入路として最上川に沿って早くから開けていました。南部地域は山岳宗教の華やかな時代には、出羽三山の登山口として発展史上特異な地域でもあります。今から400年以上前の元和8年、戸沢政盛公が常州松岡城から新庄に移封されて以来、およそ300年間新庄藩の所領として、明治維新に及び、明治4年廃藩置県によって



新庄県に属し、明治9年山形県に編入されました。昭和28年の町村合併促進法により産業、経済、生活環境等で密接な関係にあった戸沢村、古口村、角川村の3ヶ村が昭和30年4月1日に合併し古口村として発足しました。同年5月1日に村名公募により戸沢村と改称して、今日に至っています。

戸沢村章の由来

昭和30年、戸沢村・古口村・角川村の合併の際に公募により決定されました。

1. この村章は村名「戸沢」の「戸」の「一」字をもって強く、戸沢村を表現した。

2. 上部の丸い玉は「円満」「和合」を象徴し、右方に展開した鋭い缺状の姿は「打開」「進歩」「発展」を表現した。

3. 中央部湾曲は旧3村地域を流れる「鮭川」「最上川」「角川」の3河川の融合した姿を表し、この3河川で「と」の字形を作り、新村戸沢村の一体を表現した。

4. 湾曲部を太く幅広く表現したのは、村の地理条件を山・川・耕地の広大なる姿とした。

5. この村章は戸沢村民一人一人の和協を必要としている。和合の玉が転がり落ちてしまえば「戸沢」の「と」はならないからである。



戸沢村にまつわる歴史・伝説

